

京都小児外科セミナー2022年秋

— WEB セミナー —

開催日時・配信会場

- 令和4年11月13(日) 10:30~13:00
- WEB 配信

参加方法

- 京都大学外科交流センター会員サイト：<https://kyoto-u-sa.or.jp/login>
- 事務局から会員の先生方へメールでご案内

当日プログラム

開会の挨拶

司会：京都大学医学部附属病院 小児外科 助教 岡本 竜弥先生

10:30~12:00 症例検討会

～休憩～

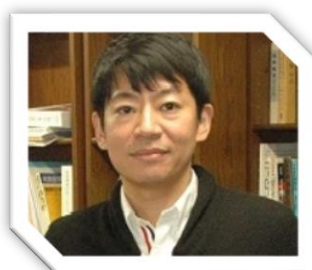
12:05~13:55 特別講演

『小児胆汁うっ滞性肝疾患を対象とした創薬研究』

東京大学 大学院薬学系研究科 分子薬物動態学教室 准教授
林 久允先生

閉会の挨拶

ご略歴



2003年03月 東京大学 薬学部 卒業
2005年03月 東京大学 大学院薬学系研究科 修士課程 生命薬学専攻 修了
2006年12月 東京大学 大学院薬学系研究科 分子薬物動態学教室 助手
2007年04月 東京大学 大学院薬学系研究科 分子薬物動態学教室 助教
2012年 Department of Psychiatry, University of California, San Francisco, Visiting Assistant Professor
2021年07月 東京大学 大学院薬学系研究科 分子薬物動態学教室 講師
2022年05月 東京大学 大学院薬学系研究科 分子薬物動態学教室 准教授

講演要旨

小児期発症の胆汁うっ滞性肝疾患には、医療ニーズが満たされない多くの希少難病が含まれる。本疾患の治療法開発に向け、疾患リソースに根差した病態分子機構の理解が不可欠である。しかしながら、希少疾患であるが故に、疾患理解に資するリソースが集積できていないのが実情である。本講演では、小児胆汁うっ滞性肝疾患の治療法開発に向けた演者の取り組みについて紹介したい。

主催： 京都大学小児外科

後援： 京都大学外科交流センター

お問い合わせ先： 一社) 京都大学外科交流センター ☎ 075-751-3131 kuhpgeka@kuhp.kyoto-u.ac.jp